



Fig.3-6 調理師専攻 事例
(安城市役所食堂で高校生レストラン開催)



Fig.3-7 美容師専攻 事例
(地域的美容師による特別授業を実施)

「高等専修学校の認知度に関するアンケート」においては、「このような地域連携・企業連携事業を高等専修学校で実施しているということを知っているか」という設問を設けているが、結果、「大変よく知っている」もしくは「知っている」と回答した教員の割合は、教員経験 11 年以上では 71%、教員経験が 10 年以下では 42% となった。このような事業を実施していても、外部には認知が広がっていないことが明らかになった。ただ、行うだけではなく、しっかりと広報して高等専修学校で自分の道を探していきたいと考える中学生に伝わるように尽力していく必要がある。

地域連携・企業連携事業に関わった生徒からは、「校内では勉強できないようなことを学習できる貴重な機会になった」、「外部の方と話す機会が多く、コミュニケーションが嫌いではなくなった」、「実際に自分たちが作ったものを外部のお客さんが買って来て嬉しかった」というような前向きな感想がたくさん聞かれた。高等専修学校に在学する生徒はコミュニケーションが苦手な生徒が多い。そのような生徒に対して、地域連携や企業連携を通して、自分が認めてもらえるような経験をすることはとても重要であると考えます。Fig.3-8 に示すように、全国高等専修学校協会のアンケートによると、全国の高等専修学校で企業連携事業を行っている学校は半分以上となっている。高等専修学校に通う生徒にとって意義の大きい事業であると考えられるため、今後このような事業が広がっていくと良いと考えます。

問 12. 地元企業と連携していますか。

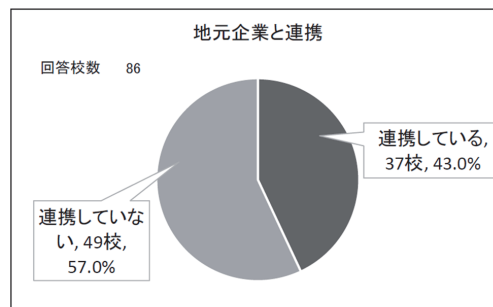


Fig.3-8 地元企業との連携状況（令和 4 年度全国高等専修学校協会アンケート結果より）

■ 分科会委員から出された意見

（高等専修学校の教育内容に求めること、地域連携、企業連携事業に関する意見）

- 本校から高等専修学校に進学する生徒を見ていると、自信がなく、不安な気持ちを持ちながら中学校生活を過ごしている生徒が多い。そのような生徒が認められたり、自信を付けたりできる場が高等専修学校にはあると感じている。企業連携や地域連携もそうだが、実技をして自分のやったことが認められるということが自信になるし、資格がとればさらに大きな自信になる。そういった1つ1つの自信を繋げていくことが、次の就職や今後の人生にとってとても重要なことになると思う。そのような活動をして頂いていることを本当にありがたいと思う。
- 体育祭や学園祭を見学させてもらったが、体育祭は生徒が中心に取り組みをしていて、声を出したり、コミュニケーションをとることに繋がっているように感じた。授業や行事などの場でいろいろと考えて取り組んでいることが生徒の成長に繋がっていると思う。安城市の中学校は今年度からスクールソーシャルワーカーの設置を始めた。安城市の中学校の卒業生がスクールソーシャルワーカーとして勤務している。安城生活福祉高等専修学校からも社会福祉の資格がとれる大学に進学する生徒がいる。そのような生徒が、地域のためにスクールソーシャルワーカーとして勤務してくれることを期待している。
- 進路指導の際には、いつも入れるだけの進路指導はしないようにと教員に伝えている。その後の人生を見越した進路指導をするようにと伝えている。卒業後こういう道に進めるとい明確なビジョンがあると、子どもはとても安心すると思う。夢を持って子どもたちが高等専修学校に入ってくることができるように今後も発展させていただければと強く思う。

3-4. 地域・企業連携 例（教育 NPO Seven Swell との連携）

当分科会の担当校である安城生活福祉高等専修学校で実施している地域連携・企業連携事業の一例として、教育 NPO Seven Swell との連携事例について述べる。教育 NPO Seven Swell は愛知県内の高等学校等で産学連携事業を行っている NPO 法人である。安城生活福祉高等専修学校のパティシエ専攻と連携して、以下のような3つの事業を行っている。

1. 地元の食材を用いたお菓子を高齢者施設に届ける事業
2. カンボジアの子ども達に栄養価の高いお菓子を届ける事業
3. 地元の規格外作物を用いたお菓子を保育施設に届ける事業

1つ目の事業は「地元の食材を用いたお菓子を高齢者施設に届ける事業」である。

事業の概要を説明する。まず、NPO の担当者において、地元農家の抱える問題を生徒に提示し、地元の食材を使ったレシピをグループで考えるための授業を実施した。その後、Fig.3-9 に示すように地元の農家の方と一緒に農作物の収穫を行った。そして、安城生活福祉高等専修学校の調理室で生徒たちがお菓子の試作を重ね、完成したさつまいものケーキを地域の高齢者施設のクリスマス会において生徒たちが直接利用者の方々に提供した。